

曾 於 市 **Soo** CITY 話題の広場 **Topics**

入籍者にお茶のプレゼント



3月30日午前10時より曾於市大隅支所応接室において大隅町茶業青年部から3月新規入籍に急須や湯呑みの贈呈式が行われました。

この贈呈式の目的は近年お茶の消費が伸び悩んでおり、また、最近の家庭では急須の無い家庭もあるため新規入籍者へ急須・湯呑み・お茶を贈呈し消費拡大へつなげようと計画されたものです。当日は大黒町自治会の籾後忠大・智美さん夫妻へ大隅町茶業青年部長の吉崎祐一会長と桂正隆副会長より贈呈されました。

籾後さんは寿司店を営んでおり普段から茶を使っているそうですが今後はこれまで以上に使ってくださいそうです。なお、今後対象となる方は「大隅町内在住」及び「市広報誌」に入籍を掲載する事が条件です。詳しくは曾於市大隅支所産業振興課特産園芸係へお願いします。

末吉中職員に感謝状



3月25日、大隅曾於地区消防組合は、建物火災の延焼を防いだとして末吉中学校教職員に感謝状が贈られました。

火災は、3月17日午前11時45分ごろ同校近くの食堂で発生、建物火災を知った教職員20名が校内の消火器を集め初期消火に駆けつけたほか、現場付近の交通整理などを行いました。

贈呈式は、全校生徒が集まった終了式後にあり、教職員を代表して丸田義宏教諭(39)が感謝状を受け取りました。仮屋正文消防長は、「現場は建物が密集する商業地域。連携プレーで台所部分の燃損だけに抑えてくれました」とたたえました。

末吉中学校教職員のフットワークの良さが認められた一幕でした。

市内企業が地元就職を支援



3月12日、市内で企業懇話会が開催されました。これは、市内の岩川高校、末吉高校、財部高校の進路指導担当者や地元企業8社、行政、議会などが一体となって、地元への就職を希望する市内の高校生を支援しようと毎年開催されています。

はじめに市役所で意見交換会が行われ、学校からの要望として「生徒が企業を訪問する機会をつくってほしい」「企業から学校へきて、出前授業を行ってほしい」などの要望が出され、企業からも「せっかく採用してもすぐに辞めてしまったので、指導をしてほしい」などの意見が出されました。

意見交換が終わると市内の企業を訪問し、日本有機や大隅酒造の焼酎カス飼料化リサイクル施設を視察して、市内での先進的取り組みを見学しました。

農業の発展を目指して



3月16日、市役所で新規就農者支援対策事業の認定証交付式が行われました。

この制度は、曾於市の基幹産業である農業の発展を担う新規就農者に就農してすぐは所得が少ないことから、2年間、毎月5万円から15万円を支給して、新規就農者を支援する制度。今回は、大隅地区より1人、財部地区より1人の2人が認定され、肉用牛の生産や茶業などが展開されていきます。

式では、池田市長より認定証を手渡して激励されたあと、就農者の皆さんが「曾於市農業発展のために貢献したい、収量や収益が増加するようがんばりたい」などそれぞれにあつち抱負が述べられました。

畜産業を曾於ブランドに！



3月19日、末吉総合センターで第4回曾於市畜産振興大会が開催されました。

これは、曾於市の基幹産業である畜産のさらなる発展や畜産農家の所得の向上、曾於ブランド確立などを目的に毎年開催されている大会。当日は、末吉町肉用牛婦人部の皆さんがオープニングに出演して花を添えました。

大会では、各種表彰が行われた後、県経済連肉用牛事業部長の小原松男氏による講話が行われました。また、特別公演では落語演芸会と題して落語家の三遊亭笑遊さんを招いて落語が始まると、会場内は大爆笑に包まれていました。

最後には、参加者全員で大会スローガンを採択し、畜産業のさらなる発展を誓い合いました。